



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月29日

上場会社名 ヒューリック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3003 URL https://www.hulic.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉留 学  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 広報・IR部長 (氏名) 伊藤 伸 TEL 03(5623)8100  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月5日 配当支払開始予定日 2020年9月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	160,265	△6.3	46,907	20.3	45,257	23.0	27,547	5.4
2019年12月期第2四半期	171,199	49.4	38,964	9.6	36,780	7.0	26,118	10.4

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 12,190百万円 (△53.8%) 2019年12月期第2四半期 26,432百万円 (10.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	41.23	—
2019年12月期第2四半期	39.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	1,959,973	461,707	23.4	687.23
2019年12月期	1,776,272	461,856	25.8	687.01

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 459,047百万円 2019年12月期 459,093百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	14.00	—	17.50	31.50
2020年12月期	—	17.50	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	17.00	34.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	100,000	13.1	92,000	8.6	62,000	5.4	92.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は賃貸事業を中心とした安定的な事業構造を有していますが、販売用不動産の売買動向によっては、営業収益（売上高）が大きく変動いたします。この物件売買の成否は経済情勢や不動産市況に大きく影響を受ける状況にあり、現状では予測が困難であるため、営業収益の予想は記載しておりません。予測が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	673,907,735株	2019年12月期	673,907,735株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	5,940,962株	2019年12月期	5,664,419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	668,081,553株	2019年12月期 2 Q	657,733,032株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
	(1) 経営成績に関する説明 .....	2
	(2) 財政状態に関する説明 .....	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
	(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間 .....	7
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間 .....	8
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
	(継続企業の前提に関する注記) .....	11
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
	(追加情報) .....	11
	(セグメント情報) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、前連結会計年度及び当第2四半期連結累計期間に竣工、取得した物件による不動産賃貸収入の増加に加え、販売用不動産の売上也順調に推移したことなどにより、営業収益は160,265百万円(前年同期比△10,934百万円、6.3%減)、営業利益は46,907百万円(前年同期比7,942百万円、20.3%増)、経常利益は45,257百万円(前年同期比8,476百万円、23.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は27,547百万円(前年同期比1,429百万円、5.4%増)となりました。

各セグメントの経営成績は、次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(各セグメントの営業収益は、セグメント間の内部営業収益、振替高を含みます。)

#### (不動産事業)

当社グループの中核事業は、東京23区を中心に、約260件(販売用不動産除く)の賃貸物件・賃貸可能面積約144万㎡を活用した不動産賃貸事業であります。マーケットニーズに即した用途バランスと競争優位性を有する賃貸ポートフォリオを再構築する観点から、ポートフォリオの組替をおこなうとともに、耐震・省エネに優れた開発・建替の加速による優良アセットの積み上げに取り組んでおります。また、開発事業やバリューアップ事業を強化することで、売却利益を享受するビジネスモデルの確立に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における建替の状況につきましては、ヒューリック札幌NORTH33ビル(2022年3月竣工予定)、ヒューリック福岡ビル(2024年7月竣工予定)及びヒューリック札幌ビル(2025年2月竣工予定)の建替計画が順調に進行しております。

当第2四半期連結累計期間の新規物件(固定資産)の取得につきましては、日本ヒューレット・パカード本社ビル(東京都江東区)、銀座天國ビル(東京都中央区)及びきらぼし銀行新宿本店(東京都新宿区)などを取得いたしました。

開発事業(固定資産)につきましては、(仮称)宇田川町32開発計画(東京都渋谷区)、(仮称)新宿3-1-7開発計画(東京都新宿区)、(仮称)銀座6丁目開発計画(東京都中央区)、(仮称)赤坂二丁目開発計画(東京都港区)、(仮称)銀座8丁目開発計画(東京都中央区)及び(仮称)銀座6丁目並木通り開発計画(東京都中央区)などが順調に進行しております。

PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)事業につきましては、京都市主催で元立誠小学校跡地活用事業として取り組んでおりました立誠ガーデン ヒューリック京都(京都市中京区)が2020年6月に竣工いたしました。そのほか、(仮称)両国リバーセンター開発計画(東京都墨田区)及び(仮称)医誠会国際総合病院計画(大阪府北区)などが順調に進行しております。

販売用不動産につきましては、ニューシティ多摩センタービル(東京都多摩市)及び相鉄フレッサイン大阪なんば駅前(大阪府浪速区)などを取得し、ヒューリック築地三丁目ビル(東京都中央区)、WeWork Shimabashi(東京都港区)、池袋GIGO(東京都豊島区)及びヒューリック兜町ビル(東京都中央区)などを売却しております。

このように、当セグメントにおける事業は順調に進行しており、前連結会計年度及び当第2四半期連結累計期間に竣工、取得した物件による不動産賃貸収入の増加に加え、販売用不動産の売上也順調に推移したことなどから、当第2四半期連結累計期間の営業収益は144,152百万円(前年同期比△19,127百万円、11.7%減)、営業利益は52,997百万円(前年同期比10,495百万円、24.6%増)となりました。

#### (保険事業)

保険事業におきましては、連結子会社であるヒューリック保険サービス株式会社が、国内・外資系の保険会社と代理店契約を結んでおり、法人から個人まで多彩な保険商品を販売しております。保険業界の事業環境は引き続き厳しい環境にありますが、既存損保代理店の営業権取得を重点戦略として、法人取引を中心に営業展開をしております。

この結果、当セグメントにおける営業収益は1,536百万円(前年同期比△75百万円、4.7%減)、営業利益は398百万円(前年同期比△61百万円、13.3%減)となりました。

(ホテル・旅館事業)

ホテル・旅館事業におきましては、連結子会社であるヒューリックホテルマネジメント株式会社は「THE GATE HOTEL」シリーズ、ヒューリックふふ株式会社は「ふふ」シリーズ、日本ビューホテル株式会社は「ビューホテル」シリーズを中心に、ホテル及び旅館の運営をおこなっております。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言や自治体からの要請等を受けて一部店舗を閉鎖したことに伴い、稼働率の低下、レストランや宴会等のキャンセルが発生し、前年同期比で営業損失が増加しております。

この結果、当セグメントにおける営業収益は11,170百万円(前年同期比5,899百万円、111.9%増)、営業損失は2,914百万円(前年同期は営業損失141百万円)となりました。

(その他)

その他におきましては、主に連結子会社であるヒューリックビルド株式会社が、当社保有ビル等の営繕工事、テナント退去時の原状回復工事、新規入居時の内装工事を中心に受注実績を積み上げた結果、営業収益は6,187百万円(前年同期比2,932百万円、90.0%増)、営業利益は790百万円(前年同期比563百万円、247.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、1,959,973百万円となり、対前期末比で183,701百万円増加いたしました。当社グループにおきましては、賃貸ポートフォリオの再構築と開発事業及びバリューアッド事業の強化の観点から、ポートフォリオの組替や開発・建替及びバリューアッド事業を推進しております。

また、ヒューリックリート投資法人及びヒューリックプライベートリート投資法人の中長期的な収益向上と優良アセットの着実な積上げを実現するために、スポンサーとしてのサポートやバックアップにも努めております。

主な項目の増減は以下の通りであります。

・現金及び預金	100,738百万円増加
・販売用不動産	21,547百万円増加(固定資産からの振替、物件の取得及び売却等)
・建物及び構築物	18,201百万円増加(物件の取得、竣工及び販売用不動産への振替等)
・土地	58,431百万円増加(物件の取得及び販売用不動産への振替等)
・投資有価証券	14,274百万円減少(投資有価証券の取得及び有価証券の含み益の減少等)

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、1,498,265百万円となり、対前期末比で183,850百万円増加いたしました。これは、主に、設備投資等に伴い、資金調達をおこなったことによるものであります。

当社グループの借入金残高は1,053,147百万円となっておりますが、このうち特別目的会社(SPC)のノンリコースローンが33,690百万円含まれております。金融機関からの資金調達については、高い収益力を背景として安定的に低コストで調達をおこなっております。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、461,707百万円となり、対前期末比で149百万円減少いたしました。このうち株主資本合計は、432,690百万円となり、対前期末比で15,390百万円増加しております。これは、主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

また、その他の包括利益累計額合計は、26,356百万円となり、対前期末比で15,436百万円減少いたしました。これは、主に、有価証券の含み益が減少したことによるその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により67,683百万円増加し、投資活動により146,317百万円減少し、財務活動において179,372百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には149,119百万円となりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,494	67,683
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267,446	△146,317
財務活動によるキャッシュ・フロー	157,266	179,372
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,160	149,119

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは67,683百万円の収入(前年同期比△58,810百万円)となりました。これは主に、不動産賃貸収入及び販売用不動産の売却を主因とした税金等調整前四半期純利益が43,938百万円、たな卸資産の減少額が36,258百万円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは146,317百万円の支出(前年同期比121,128百万円)となりました。これは主に、賃貸ポートフォリオの再構築と開発事業及びバリューアッド事業の強靱化の観点から、ポートフォリオの組替や開発・建替等をおこなったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは179,372百万円の収入(前年同期比22,106百万円)となりました。これは主に、上記、ポートフォリオの組替や開発・建替等のために、資金調達をおこなったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大により、当社グループの事業運営に一部影響を及ぼしておりますが、当第2四半期の業績は、概ね計画通りに推移しており、2020年12月期の業績予想に変更はありません。

今後、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化し、業績予想修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	48,727	149,466
受取手形及び営業未収入金	3,747	3,540
商品	42	16
販売用不動産	116,967	138,514
仕掛販売用不動産	0	-
未成工事支出金	266	342
貯蔵品	309	282
営業投資有価証券	6,377	6,359
その他	7,507	6,480
貸倒引当金	△5	△6
<b>流動資産合計</b>	<b>183,941</b>	<b>304,997</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	238,082	256,283
機械装置及び運搬具(純額)	2,958	2,930
土地	1,082,445	1,140,877
建設仮勘定	14,303	15,861
その他(純額)	6,757	6,801
<b>有形固定資産合計</b>	<b>1,344,547</b>	<b>1,422,753</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	3,336	3,176
借地権	84,361	82,528
その他	794	1,019
<b>無形固定資産合計</b>	<b>88,492</b>	<b>86,724</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	133,009	118,734
差入保証金	18,547	19,366
繰延税金資産	941	915
退職給付に係る資産	119	126
その他	6,040	5,791
貸倒引当金	△0	△0
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>158,657</b>	<b>144,934</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>1,591,697</b>	<b>1,654,412</b>
<b>繰延資産</b>		
<b>繰延資産合計</b>	<b>633</b>	<b>564</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,776,272</b>	<b>1,959,973</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	31,270	49,747
短期社債	19,999	149,965
1年内償還予定の社債	5,038	22
未払費用	4,463	3,913
未払法人税等	18,151	14,301
前受金	7,184	7,249
賞与引当金	667	169
役員賞与引当金	269	128
その他	9,906	11,135
流動負債合計	96,952	236,633
固定負債		
社債	135,000	135,000
長期借入金	954,770	1,003,400
繰延税金負債	37,656	32,822
株式給付引当金	1,555	1,614
退職給付に係る負債	1,289	1,422
長期預り保証金	79,826	80,200
その他	7,364	7,173
固定負債合計	1,217,463	1,261,632
負債合計	1,314,415	1,498,265
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	62,718	62,718
資本剰余金	88,957	88,867
利益剰余金	267,934	283,710
自己株式	△2,310	△2,606
株主資本合計	417,300	432,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,819	26,485
繰延ヘッジ損益	△22	△20
退職給付に係る調整累計額	△2	△108
その他の包括利益累計額合計	41,793	26,356
非支配株主持分	2,762	2,660
純資産合計	461,856	461,707
負債純資産合計	1,776,272	1,959,973



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業収益	171,199	160,265
営業原価	120,143	93,058
営業総利益	51,056	67,206
販売費及び一般管理費	12,092	20,299
営業利益	38,964	46,907
営業外収益		
受取利息	3	8
受取配当金	1,272	1,429
持分法による投資利益	—	375
賃貸解約関係収入	24	299
その他	256	241
営業外収益合計	1,555	2,354
営業外費用		
支払利息	3,146	3,516
持分法による投資損失	309	—
その他	283	486
営業外費用合計	3,739	4,003
経常利益	36,780	45,257
特別利益		
固定資産売却益	—	531
投資有価証券売却益	1,435	4
匿名組合等投資利益	21	—
その他	1	0
特別利益合計	1,459	537
特別損失		
固定資産除却損	6	850
建替関連損失	181	659
その他	1	346
特別損失合計	189	1,856
税金等調整前四半期純利益	38,051	43,938
法人税、住民税及び事業税	12,974	14,990
法人税等調整額	△1,127	1,321
法人税等合計	11,846	16,311
四半期純利益	26,204	27,626
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	79
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,118	27,547

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	26,204	27,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	411	△15,058
繰延ヘッジ損益	2	2
退職給付に係る調整額	△6	△106
持分法適用会社に対する持分相当額	△179	△273
その他の包括利益合計	227	△15,436
四半期包括利益	26,432	12,190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,345	12,110
非支配株主に係る四半期包括利益	86	79

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	38,051	43,938
減価償却費	6,740	7,757
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△163	△497
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△138	△140
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	197	188
退職給付に係る資産負債の増減額	68	20
受取利息及び受取配当金	△1,275	△1,437
支払利息	3,146	3,516
持分法による投資損益 (△は益)	309	△375
固定資産除却損	6	850
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△55
無形固定資産売却損益 (△は益)	—	△473
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,435	△4
匿名組合等投資損益 (△は益)	△21	—
売上債権の増減額 (△は増加)	298	201
たな卸資産の増減額 (△は増加)	91,151	36,258
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	0	18
差入保証金の増減額 (△は増加)	△386	△819
預り保証金の増減額 (△は減少)	8,431	373
その他の資産の増減額 (△は増加)	△555	△832
その他の負債の増減額 (△は減少)	186	△224
小計	144,610	88,264
利息及び配当金の受取額	1,305	1,554
利息の支払額	△3,119	△3,499
法人税等の支払額	△16,302	△18,707
法人税等の還付額	—	71
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,494	67,683
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	193	—
有形固定資産の取得による支出	△204,920	△139,066
有形固定資産の売却による収入	—	1
無形固定資産の取得による支出	△58,579	△350
投資有価証券の取得による支出	△4,676	△7,008
投資有価証券の売却による収入	—	41
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	—	△15
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 収入	629	—
貸付金の回収による収入	1	1
その他	△94	79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267,446	△146,317

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300	12,000
短期社債の純増減額 (△は減少)	50,999	129,882
長期借入れによる収入	85,000	69,700
長期借入金の返済による支出	△15,281	△14,521
社債の発行による収入	54,726	-
社債の償還による支出	△8,000	△5,016
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△1,175	△424
配当金の支払額	△9,265	△11,771
非支配株主への配当金の支払額	△24	△35
その他	△13	△439
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>157,266</b>	<b>179,372</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	16,313	100,738
現金及び現金同等物の期首残高	31,847	48,380
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,160	149,119

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

販売用不動産の評価及び固定資産の減損の会計上の見積り等において、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は当社グループの一部の事業運営に影響を及ぼしており、一定の不確実性が存在するものの、第4四半期ごろから徐々に事業活動が回復、正常化に向かうと仮定しております。

当社グループは、上記の仮定を基礎として、販売用不動産及び固定資産の評価等に係る、会計上の見積りをおこなっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	保険事業	ホテル・ 旅館事業	計				
営業収益								
外部顧客への 営業収益	162,028	1,612	5,255	168,896	2,303	171,199	—	171,199
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	1,251	—	16	1,267	952	2,220	△2,220	—
計	163,280	1,612	5,271	170,164	3,255	173,419	△2,220	171,199
セグメント利益 又は損失(△)	42,502	460	△141	42,822	227	43,049	△4,085	38,964

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事請負、設計・工事監理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,085百万円には、セグメント間取引消去△11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,073百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間期首をみなし売却日として、連結子会社の株式会社アヴァンティスタッフの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より「人材関連事業」を報告セグメントから除外しております。

なお、前連結会計年度末において当該資産は「人材関連事業」セグメントに4,023百万円計上されております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間期首をみなし売却日として、連結子会社の株式会社アヴァンティスタッフの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より「人材関連事業」を報告セグメントから除外しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	保険事業	ホテル・ 旅館事業	計				
営業収益								
外部顧客への 営業収益	142,821	1,536	11,161	155,519	4,745	160,265	—	160,265
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	1,331	—	9	1,340	1,442	2,782	△2,782	—
計	144,152	1,536	11,170	156,860	6,187	163,048	△2,782	160,265
セグメント利益 又は損失(△)	52,997	398	△2,914	50,482	790	51,273	△4,365	46,907

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建築工事請負、設計・工事監理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,365百万円には、セグメント間取引消去△13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,352百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「ホテル・旅館事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。